

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 15日

事業所名 しあわせ駅須恵

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋数が多いので、職員配置には気をつけている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			隣の田畑から水が流れ込み階段にコケが生え、滑りやすくなるので定期的にブラシをかけている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年1回のアンケート調査を行い、職員で共有している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修には積極的に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		職員全員がアセスメントに関わり、計画に繋げている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		話し合いを積極的に行い、職員全員が立案者となるように協力し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		常に新鮮な活動となるように考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者の状況により、急な変更を要する時にも柔軟に対応できるように考えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々によって、個別と集団のそれぞれに適した内容を設定している。	個別が難しい利用者、反対に集団が難しい利用者の、本人と保護者のニーズを擦り合わせていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		直接話せない時は、LINE等を活用している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		退勤時間が違うため、回覧、終礼記録等で共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	○		適宜ガイドラインの再確認をしながら支援計画を立てている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		主に学校送迎時に、担任との情報共有に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		対象となる児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		今まで対象者がいなかった。今後、対象者が出てくる予定なので、必要に応じて対応したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修を受けた後は、その内容を他の職員に共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		障がいのない子どもとの交流は必要ではある、が今後の検討課題。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		その日の様子は連絡帳や送迎時、電話等で伝えるようにしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			職員の力量を超える場合は、各関連機関に協力を仰ぐこともある。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			職員の力量を超える場合は、各関連機関に協力を仰ぐこともある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		以前は茶話会を開催していたが、コロナ禍で途絶えてしまっている。仕事を持つ保護者がほとんどなので、開催のタイミングを見計らっている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情が出た際は、迅速な対応を心掛けている。記録にも残し、再発がないように努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		連絡帳やインスタグラムを活用している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			配布物の入れ間違えがないよう、チェックを念入りにしていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		近隣の店舗、会社等と交流をしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		年1回マニュアルチェックをしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災センターの学習と、年3回の避難訓練をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的な研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		定期的な研修を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		各自の食物アレルギーを一覧表にして掲示して気を付けている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			